

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木市奈良町マンション新築	階数	地上7F
建設地	茨木市奈良町	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	89人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年9月 予定	評価の実施日	2023年7月24日
敷地面積	1,024 m ²	作成者	長岡 博之
建築面積	426 m ²	確認日	2023年7月24日
延床面積	2,253 m ²	確認者	長岡 博之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	138
②建築物の取組み	92
③上記+②以外の	46
④上記+	0

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

音環境	3.4
温熱環境	2.2
光・視環境	3.7
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.4
耐用性	3.0
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

建物外皮の	3.0
自然エネ	2.0
設備システ	3.2
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.0
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 特になし	
Q1 室内環境 外皮性能の確保、音環境や音環境、シックハウス性能等、全体的な性能を向上	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料の使用	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー LED照明器具の使用	LR2 資源・マテリアル 環境に配慮した材料や有害物質を含まない材料の利用	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の抑制

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R5-0046

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木市奈良町マンション新築工事						
	建設地	茨木市奈良町						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						3	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.2	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							